

” ミッション ” = 「河道閉塞」を解消せよ！
～地震時緊急対応シミュレーション～

武雄河川事務所
最近の話題

” 緊急使命 ” = 「河道閉塞」の解消！ 《1/100回の実践（1回の演習）を実施》

10月30日（木）に実施したシミュレーション（地震時）には、職員・防災エキスパート会・災害時協定業者25社の、約60名が参加しました。
今回は、大規模斜面崩壊に伴う河道閉塞の対応を想定したミッションで、復旧工法検討や数量・工程算出、資機材の調達・ルート検討等、実践を踏まえた演習を行いました。
演習は、各出張所ごと4班に分かれ、各班にて討議を行い、結果発表を行いました。

ミッション発令



『早急に、河道閉塞を
解消させ、通水断面を確保
せよ！』

『了解！直ちに実施し
ます。』

シミュレーション開始

任務遂行中の参加者



発表者：炭吉班長



各班からの発表

1班
松浦川

2班
敵木ダム



天然
ダム

発表者：松山班長



発表者：山崎技術係長



3班
六角川

4班
牛津川

発表者：平班長



☆☆☆ 前回（6月）、シミュレーション（梅雨時）からの改善点 ☆☆☆
 （エキスパート会の方等からの意見を参考に、下記内容について改善を行いました。）

No	主な意見等	改善点
①	被災時の対応（全体の作業）の流れが班員に十分把握されていなかった。	「作業全体の流れ」及び「今回実施する箇所」をフローで示した。
②	班長のリーダーシップが重要である。	班長を対象とした、事前勉強会を行った。
③	班員の役割が明確でないため議論が分散していた。	事前に役割分担を行い、討議を行った。 （班長：統括、副班長：班長補佐、職員：工法・数量・工程検討、協力業者：資機材・ルート検討）
④	災害復旧に関する資料の充実が必要である。	災害復旧に関する手引きや指針、九州北部豪雨の記録、河道閉塞に関する関連資料を配布した。
⑤	シミュレーション参加することに、災害時協定業者のメリットが必要。	「CPD」登録を行ったことにより、シミュレーション参加へのモチベーション向上になった。
次への課題	上記の改善を行い実施しましたが、一部で班員を効率的に活用できていない部分も見られ、次回へのさらなる反省点が見つかりました。	

被災内容：『大規模な斜面崩壊に伴う河道閉塞』の選定について被災想定について、下記の理由により選定しました。
 過去のシミュレーションにおいて、まだ実施していない内容を選定。
 （被災事例：矢部川支川星野川「H24.7」、近畿地整（和歌山県・奈良県）「H23.9」など）
 （理由1：人工林の手入れ不足に伴う、森林の保水力等、機能低下の懸念がある）
 （理由2：山付き河川区間や上流部においては、山林斜面崩壊の危険が考えられる）

ブレイクタイム： 「○:シミュレーション」 ≠ 「×:シュミレーション」
1回の実践 ≥ 100回のシミュレーション

『 某缶コーヒーのCMでは、正解「シミュレーション」とよく言い間違っ「シュミレーション」の違いが指摘されています。（個人的には特にどちらでも・・・）
 また、「100回のシミュレーション」より「1回の実践」が重要だとも・・・！ しながら、私たちが、そう度々、堤防被災時の実践に直面する事は、少ないかと思えます。
 でも、何時その実践に直面するかは、分かりません。
 いざと言う時のためにも、「1回のシミュレーション」≒（1/100回の実践）へ参加して経験を積み上げてはみませんか！
 ”ブラボー”な発言と 皆さんの参加をお持ちしています。 』

今回のシミュレーションを実施するにあたり、上記文書を添えて所内へ参加の呼びかけを行いました。効果があったかは、？ですが。

